

## 第3章 計画の基本理念・基本目標

### 1 基本理念と基本目標

- 府中市民一人ひとりが地域で毎日を安心して暮らしていくためには、お互いにささえあうことが大切です。そして、誰もが「ささえあう心と力」をもっており、また「ささえられて生活するとき」もあります。
- この計画は、以上のような観点に立ち、次の基本理念と基本目標のもと、市民の誰もが地域で安心していきいきと暮らすことのできる府中の実現をめざします。

#### 基本理念

**みんながささえあう福祉のまちづくり**

#### 基本目標

- 1 **誰もが安心して暮らせるまちづくり**
- 2 **誰もが住み続けられるまちづくり**
- 3 **誰もが参加し活動するまちづくり**

## 基本目標 1 誰もが安心して暮らせるまちづくり

地域社会の変化に伴い、地域の安心、安全の確立が求められています。そのためには、地域の生活課題・福祉課題を総合的に受け止めるきめ細かなしくみが必要です。「誰もが安心して暮らせるまちづくり」は、公的な福祉サービスとともに、私たち市民も一人ひとりができる範囲で課題解決にむけて実践することをめざすものです。

## 基本目標 2 誰もが住み続けられるまちづくり

たとえ障害があっても、要介護状態になっても「可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生き方をしたい」ということが、多くの方々の望みです。「誰もが住み続けられるまちづくり」は、障害があっても、高齢になっても、誰もが地域で生活していくことができるように、各種施設の改善や整備に加えて、地域の「新たなささえあい」のしくみづくりなど環境の整備をめざすものです。

## 基本目標 3 誰もが参加し活動するまちづくり

地域では、子どもから高齢者、また、学生・勤労者などさまざまな方々が、時にはささえられ、時にはささえることで生活が保たれています。市民が主体的に福祉活動に参加することは、住み慣れた地域で、生きがいや社会的な役割をもつことができ、より豊かな生活につながります。「誰もが参加し活動するまちづくり」は、こうした市民の意識の向上や活動への参加をめざすものです。